

道路点検パトロール業務委託（その２）仕様書

第１条 適 用

本仕様書は、道路点検パトロール業務委託（その２）（以下「本業務」という）に適用する。

第２条 目 的

本仕様書は、本市が管理する国道・県道・市道を対象とした道路点検パトロールを実施し、道路損傷箇所の早期把握や落下物の除去を図ることで、安全かつ円滑な交通の確保と、効率的な維持修繕を図ることを目的とする。

第３条 業務管理

委託契約書、設計図書、関係法規を遵守し、監督員の指示を受け正確に業務を実施しなければならない。

業務の実施にあたっては、本仕様書に基づき実施するものとし、明記なき事項及び疑義が生じた場合は、速やかに協議の上、解決を図り、その指示に従うものとする。

第４条 提出書類

契約書に定めるものを含め、下記の書類を提出しなければならない。

- （１）現場代理人届、業務計画書、道路点検パトロール業務委託要員証発行願（様式１）
- （２）業務計画書には、道路点検パトロールの経路、業務従事者の氏名及び運転免許証の有効期限日、パトロール車の仕様、緊急連絡網、その他、本業務に必要な事柄を明記すること。
- （３）道路点検パトロール中に、道路維持のための措置を実施又は、落下物の処理を実施した場合で緊急措置が必要な場合は、直ちに監督員に報告すること。
- （４）道路点検パトロール日誌（様式２）、道路点検パトロール緊急作業報告書（様式３）はパトロールを実施した翌日までに提出すること。

第５条 履行期間

本業務の履行期間は、契約日より契約書に記載の日までとする。

道路点検パトロール（昼間）は、市道について、１日／週（中央区、南区の２コースを隔週）パトロールを実施し、第８条業務点検項目（１）～（６）について点検を行う。また、国県道について、１日／週パトロールを実施し、第８条業務点検項目（１）～（６）について点検を行うものとする。

道路点検パトロール（夜間）は、国県道について、１日／月実施し、第８条業務点検項目（４）・（５）・（７）について点検を行うものとする。

緊急を要する道路点検パトロールは、随時指示を行う。

第６条 対象路線

中央区、南区管内各路線（道路点検パトロール運行図のとおり）

第7条 道路点検パトロール体制

道路点検パトロールに係る人員編成は、パトロール員1名、自動車運転手1名の2名体制を基準とする。

パトロール員は、第8条業務点検項目（1）～（7）を遂行できる者とする。

第8条 業務点検項目

- （1）舗装路面の損傷状況
- （2）道路に付帯する構造物の損傷状況
- （3）通行及び安全確保に支障となる街路樹・民地樹木・草等の状況
- （4）落下物、障害物の有無
- （5）降雨・雪・風など通行上支障となる事象の状況
- （6）ゴミの散乱状況
- （7）照明灯、ブリンカーライト等の状況
- （8）その他監督員が指示するもの

第9条 作業及び措置

- （1）道路点検パトロール中、路面の穴等、通行上支障となる箇所を確認した場合は、直ちに応急修繕を施すこと。

ただし、損傷が甚大で、軽易な作業では処理ができない場合は、保安施設を適切に設置して、緊急連絡網に従い監督員等に至急連絡すること。

- （2）道路点検パトロール中に、落下物、障害物及びゴミの散乱状況を確認した場合は、直ちに適切な処理を行うこと。

ただし処理が困難な物は、保安施設を適切に配置し、緊急連絡網に従い監督等に至急連絡すること。

- （3）道路内の工事現場において、保安施設の不備、警備員の未配置など、通行上支障となる箇所を確認した際には、至急監督員に報告すること。
- （4）その他、道路の不法占用など、通行上支障となる事柄を確認した場合は、至急監督員に報告すること。

第10条 道路点検パトロールの資機材

- （1）管内地図・道路関係図面
- （2）携帯電話・携帯無線
- （3）測定器具類
- （4）カメラ
- （5）工具類（ハンマー・スコップ・ツルハシ・ノコギリ等）
- （6）保安器具（バリケード・セーフティコーン・ロープ・土のうなど）
- （7）照明灯（誘導灯、投光器など）
- （8）応急措置材（常温合材・凍結防止材等）
- （9）その他、必要な機材貸与品

第11条 支給品・貸与品

(1) 第10条(1)道路関係図面について、本業務履行上必要な場合は、貸与する。

貸与された図書を、本業務に限り使用し、他の事柄に使用してはならない。また、本業務完了後には、返納すること。

(2) 第10条(8)応急資機材は、本市が支給する。

支給を受ける際には、応急資材支給願(様式4)を提出すること。

第12条 安全対策

(1) 本業務に従事する者に対して、定期的に安全教育を実施するなど、安全意識の向上に努めること。

(2) 道路交通上、第三者への安全対策に十分配慮し、適切に本業務を履行すること。

第13条 沿道対応

本業務履行中に、沿道住民及び道路利用者などから、苦情などを受けた場合は、本市受託業務中であることを十分理解して、丁寧に対応すること。また、対応した内容については、監督員に報告すること。

第14条 環境への配慮事項

本業務において、以下の事項について配慮すること。

(1) 「相模原市環境方針」の趣旨を理解し、本業務の実施にあたっては、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境法令の遵守に努めること。

(2) 本業務の実施においては、アイドリングストップを徹底すること。

第15条 その他

発注者から夜間及び休日昼夜間に緊急対応を指示することがある。精算については、その都度協議するものとする。

第16条 疑義

本業務履行中に疑義が生じた場合は、その都度協議すること。